

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人湘南ふれあい学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	330 時間	320 時間	
	作業療法学科	夜・通信	330 時間	320 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.crc.ac.jp/disclosure.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人湘南ふれあい学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.fureai-g.ac.jp/html/idea/#04>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人 理事長	2024.6.24 ～ 2028.6.23	ガバナンス担当
非常勤	神奈川県金属プレス工業会 名誉会長・最高顧問	2024.6.24 ～ 2028.6.23	ガバナンス担当
非常勤	会計事務所 所長	2024.6.24 ～ 2028.6.23	コンプライアンス 担当
(備考) 理事のうち、学外者3名。			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人湘南ふれあい学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 学校が作成した到達目標および成績評価基準を、各科目の担当(教員及び講師)に提示し、各科目の担当(教員及び講師)がシラバスを作成する。 作成されたシラバスを回収し冊子とする。 年度の初めに全学生に配布する。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>「教育要領・シラバス」を教職員、学生に配布。また、関係者以外の場合は、申請に基づき校内にて書面により開示する。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>◆学則第 26 条 単位認定については、学科ごとに試験を行い、その結果により認定する。</p> <p>2 各科目の欠席時間が出席すべき時間の 3 分の 1(実習は 5 分の 1)を超える者は当該科目の試験を受け資格を喪失する。</p> <p>3 単位認定の基準については、別に定める。</p> <p>◆学習・試験及び卒業に関する規定</p> <p>13 単位認定</p> <p>(1)単位認定は次の基準により行う。</p> <p>①科目試験(実習は実習評価)で、その該当試験の 60 点以上の者 前号により 60 点未満のもので、1 回に限る再試験を受け、その再試験で 60 点以上の者</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各学年で実施される定期試験(前期および後期)の各科目点数を基に、偏差値を算出し、その年度の平均偏差値より最上位から最下位の順位をつけて管理している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.crc.ac.jp/disclosure.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>◆学則第 27 条 学校長は本校所定の課程を修了したものに卒業を認定し、卒業証書を授与する。 2 卒業の認定は、所定の学科科目を履修し、単位を取得したものについて行う。</p> <p>◆学習評価・試験及び卒業に関する規定 卒業 (1) 卒業は卒業判定会議を経て学校長が認定する。 (2) 卒業に関しては以下の条件を満たす者とする。 ①すべての履修科目を修得していること。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.crc.ac.jp/disclosure.html</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人湘南ふれあい学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/financial2024.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/financial2024.html
財産目録	http://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/financial2024.html
事業報告書	http://www.fureai-g.ac.jp/pdf/inviolability/2024/info_re01_breport_1.pdf
監事による監査報告（書）	http://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/financial2024.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	理学療法学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3.570時間/133単位 単位時間/単位	2.220 単位時間 /単位	420 単位時間 /単位	930 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3570単位時間/133単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
280人		224人	0人	10人	44人	54人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学校が作成した到達目標および成績評価基準を各科目の担当（教員及び講師）に提示し、各科目の担当（教員及び講師）がシラバスを作成。 作成したシラバスを回収し、冊子として学生に配布。
成績評価の基準・方法
（概要） 学則第26条 単位認定については、学科ごとに試験を行い、その結果により認定する。 2 各科目の欠席時間が出席すべき時間の3分の1（実習は5分の1）を超える者は当該科目の試験を受け資格を喪失する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級 (1) 進級は、進級判定会議で審議し、学校長が認定する。 (2) 進級に関しては、以下の各号の条件を満たす者とする。 ① 該当学年の履修科目に合格している者。 卒業 (1) 卒業は卒業判定会議を経て学校長が認定する。 (2) 卒業に関しては以下の条件を満たす者とする。

①すべての履修科目を修得していること。
学修支援等
(概要) 毎週の確認テスト(前週の授業の理解度・把握度を測る) 国試対策分野別補習 模擬試験 長期休暇中の宿題ほか

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
50人 (100%)	0人 (0%)	49人 (98.0%)	1人 (2.0%)
(主な就職、業界等) 医療機関、介護老人保健施設等			
(就職指導内容) 求人票の閲覧、面接指導、就職合同説明会、個別指導ほか			
(主な学修成果(資格・検定等)) 理学療法士(国家資格)、高度専門士			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
243人	18人	7.4%
(中途退学の主な理由) 学習意欲の低下、進路変更、成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者面談、スクールカウンセリングの実施		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療分野	医療専門課程	作業療法学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3.600時間/130単位 単位時間/単位	1,980 単位時間 /88単位	510 単位時間 /17単位	1,110 単位時間 /25単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,600単位時間/130単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	39人	0人	5人	23人	28人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学校が作成した到達目標および成績評価基準を各科目の担当（教員及び講師）に提示し、各科目の担当（教員及び講師）がシラバスを作成。 作成したシラバスを回収し、冊子として学生に配布。
成績評価の基準・方法
（概要） 学則第 26 条 単位認定については、学科ごとに試験を行い、その結果により認定する。 2 各科目の欠席時間が出席すべき時間の 3 分の 1（実習は 5 分の 1）を超える者は当該科目の試験を受け資格を喪失する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級 (1) 進級は、進級判定会議で審議し、学校長が認定する。 (2) 進級に関しては、以下の各号の条件を満たす者とする。 ① 該当学年の履修科目に合格している者。 卒業 (1) 卒業は卒業判定会議を経て学校長が認定する。 (2) 卒業に関しては以下の条件を満たす者とする。 ① すべての履修科目を修得していること。
学修支援等
（概要） 毎週の確認テスト（前週の授業の理解度・把握度を測る） 国試対策分野別補習 模擬試験 長期休暇中の宿題ほか

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 (100%)	0 人 (0%)	13 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 医療機関、介護老人保健施設等			
（就職指導内容） 求人票の閲覧、面接指導、就職合同説明会、個別指導ほか			
（主な学修成果（資格・検定等）） 作業療法士（国家資格）、高度専門士			

(備考) (任意記載事項)		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56人	3人	5.4%
(中途退学の主な理由) 学習意欲の低下、進路変更、成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者面談、スクールカウンセリングの実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科	300,000円	1,050,000円	350,000円	その他の内訳
作業療法学科	300,000円	1,050,000円	350,000円	施設費 350,000円
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.crc.ac.jp/disclosure.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、リハビリテーション分野の関係団体の関係者及び医療機関実務者とともに、学校関係者評価委員会を設置して、当該専攻分野における実務に関する知見を活かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動及び学校運営の改善の参考とする。 評価項目は、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の募集、財務、法令の順守等。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
社会福祉法人 麗寿会 事務責任者	2024. 4. 1～2026. 3. 31	介護施設職員

医療法人グループ ブロック長	2024. 4. 1～2026. 3. 31	実習先・就職先施設 職員
卒業生	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.crc.ac.jp/disclosure.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.crc.ac.jp/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H114320700029
学校名 (〇〇大学 等)	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人湘南ふれあい学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		30人 (-) 人	29人 (-) 人	31人 (-) 人
内 訳	第Ⅰ区分	17人	15人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅱ区分	-	-	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅲ区分	-	-	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0人	0人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	-	-	
区分外 (多子世帯)	0人	0人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0人 (0) 人
合計 (年間)				31人 (-) 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が廃止の基準に該当)	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	-	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	-	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	-	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。